

ニイハマ写真部

まち歩き撮影会

立川地区

2019年11月30日(土)

10:00~12:30

立川地区について

江戸時代(元禄4年)に開坑した別子銅山よりも、50年以上前に開かれたといわれる「立川銅山」があったエリア。後に別子銅山と経営が統一されてからは、銅山物資運搬の中継基地として栄えた。鉄道跡など別子銅山の産業遺産が数多く残るほか、足谷川沿いの美しい石積み集落の景観もみどころ。



1 立川中宿跡



元禄15年に設置された別子銅山物資輸送の中継基地。この場所で1泊したり、荷物を保管したりしていた。周辺は料亭などもある歓楽街だった。

QRコードあり

5 車屋橋 (吊り橋) 10 黒石橋



立川地区にある2つの吊り橋

9 龍河神社 (神名石) 龍古乃別君



神名石「龍河神社」の文字は、鷲尾勘解治(別子鉱業所最高責任者)が揮毫したもの。



神名石「龍古乃別君」は、立川出身の田宮嘉右衛門(第5代神戸製鋼所社長)が献上したもの。



7 龍河神社 狛犬①



立川銅山4代目支配人 渡海屋平左衛門が献上したと言われている。

8 龍河神社 狛犬②



住友鉱業(株) 別子鉱業所 所長 三村起一が献上した。

2 ものいわだけ 物言嶽隧道

花崗岩の立派な石垣の上に別子鉱山鉄道下部鉄道廃線跡と鉄道用のトンネル物言嶽隧道がある。明治26年~昭和52年まで使われた、端出場と惣開を結ぶ約10.4kmの鉄道。



※線路跡 立入禁止。道路から見上げて鑑賞しましょう。

物言嶽隧道

3 牛車道



明治13年に完成した、つづら折りの坂道。この道の完成により、開坑以来持ちが人力で運んでいた鉱石を牛が運ぶようになり、作業効率が大幅にアップした。

4 6 石積みギャラリー



8 リゅうかわじんじや 龍河神社

地域の開祖神として崇拝され、国領川の水源を司る神様 龍古乃別君を祀る神社。社叢は市指定天然記念物。

